



2015年度
第13回

SDフォーラム

多様な繋がりを育む大学職員

2015年10月18日（日）

10:00~17:15【受付開始9:30】

会場：キャンパスプラザ京都

大学職員の担う業務は、学内外の様々な人々とのコラボレーションで成り立っています。コラボレーションを通じて、大学においては教育研究の展開に新たな可能性が生まれる一方、そのパートナーの側からは大学に対してこれまでになかった期待が寄せられるようになってきています。また職場の中に視点を移せば、大学職員がともに働くスタッフも国籍・性別・職位・雇用形態などの面で多種多様な属性を持つようになり、チームとして有機的に個人を繋ぐには、コミュニケーションのうえでも様々な配慮や多様な価値の尊重が必要となってきています。このような状況のもと、大学職員は、異なる立場の人達や組織を繋ぐことで新たな価値を生み出し、またそれを育むことが求められています。

今回のSDフォーラムでは、これまでの枠を超えて、立場の異なる多様な人たちとどのように『コラボ』し、それを職場の活性化や大学における学術研究や組織の発展、学生の成長、さらに地域の活性化等の課題へとどう繋げていくか、そしてその際に問われる職員の力について、ともに考えます。

【対 象】

大学・短期大学の教職員

【定 員】

基調講演 180名 / 分科会 各30名

※先着順での受付となります。

※分科会には定員がございます。申込み手続き完了後は変更できません。

【申込期間】

◆加盟大学・短期大学の教職員 2015年8月11日(火)～9月11日(金)

◆非加盟大学・短期大学の教職員 2015年8月25日(火)～9月11日(金)

※8月11日(火)～8月24日(月)の期間は、公益財団法人 大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の先行申込期間となりますので、加盟大学・短期大学以外の方は、お申込みいただけません。

※先行申込期間中は、各分科会は優先定員(15名)までの受付となります。

※当日の参加申込、また分科会の変更はお受けできませんのでご了承ください。

【参加費用】

◆加盟大学・短期大学の教職員…3,000円

◆非加盟大学・短期大学の教職員…6,000円

※お支払いが完了した参加費の返金は致しかねます。予めご了承ください。

<http://www.consortium.or.jp/project/sd/forum>



第1部：基調講演

10:00～12:00（受付開始9:30）

テーマ：わかりあえないことから

講師：平田 オリザ 氏（東京藝術大学 COI研究推進機構 特任教授）

講師経歴：

劇作家・演出家・青年団主宰。こまばアゴラ劇場芸術総監督・城崎国際アートセンター芸術監督。

1962年東京生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。

1995年『東京ノート』で第39回岸田國土戯曲賞受賞。

1998年『月の岬』で第5回読売演劇大賞優秀演出家賞、最優秀作品賞受賞。2002年『上野動物園再々襲撃』（脚本・構成・演出）で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。2002年『芸術立国論』（集英社新書）で、AICT評論家賞受賞。2003年『その河をこえて、五月』（2002年日韓国民交流記念事業）で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター客員教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐、京都文教大学客員教授、（公財）舞台芸術財団演劇人会議理事長、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、日本劇作家協会副会長、日本演劇学会理事、（財）地域創造理事、豊岡市文化政策担当参与。

講師より：

昨今、コミュニケーション能力の問題が、いささか過剰なほどに取りあげられています。しかし、その必要とされるコミュニケーション能力とはなんなのかを明確に定義することは、非常に難しい問題です。そもそも、はたして子どもたち、学生たちのコミュニケーション能力は低下しているのか。問題の本質にさかのぼりながら、現在のコミュニケーション教育の最新状況について分析し、展望を示します。

第2部：分科会

13:00～16:00

分科会A：学生との協働

自立した学生を育成するために職員はどう関わるべきか！？

～学生FDサミット2015夏in追手門学院大学における学生との協働～

報告者：岸岡 奈津子 氏（追手門学院大学 教育開発機構 講師）

米澤 慎二 氏（追手門学院大学 理事長・学長室 審議役）

吉田 尚子 氏（追手門学院大学 教務部教育支援課 企画役）

現在大学において、職員と学生が協働してイベントやプログラム等を実施することが多くなってきています。そんなとき、どのように学生と関わったら良いか困っていませんか？学生自らが気づき、当事者意識を持ち、主体的に行動するよう促すためにはどうしたらよいのか！？

本分科会では、「学生FDサミット2015」での職員と学生の協働における体験談をもとに、対話やワークを通して参加者のみなさんと一緒に考えていきます。

分科会B：企業との協働

企業と大学 多様な「連携」をめざして

報告者：石川 武 氏（三共精機株式会社 代表取締役社長）

弊社では2006年から10年間、大学コンソーシアム京都のインターンシップ・プログラムを通じ、約40名の学生を受入れ、実習を行なって来ました。これまでの活動がどのような考え方で実践され、その結果現在どのような効果をもたらしたのかを、弊社事例で確認してもらいながら、これからの企業と大学の連携可能性とその潜在力について、本分科会参加の皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。

三共精機株式会社ホームページ <http://www.sankyo-seiki.com/>

分科会C：地域との協働

地域との協働で大切な「3つ」のポイント～COC採択校の事例より～

報告者：押領司 哲也 氏(京都文教大学 フィールドリサーチオフィス 課長)

COC、COC+、地方創生、まち・ひと・しごと創生総合戦略など、大学と地域の協働に対する期待が高まっています。

本学では、1996年に開学以来、京都府南部地域を中心に教育・研究・社会貢献活動を展開し、昨年度、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)に京都府内の私立大学として、唯一採択されました。

本学の事例から、地域との協働を進めるに当たって大切なことについて、一緒に考えていきましょう！

分科会D：多様なスタッフとの協働

多様な学生と向き合う学内連携を考える～障害学生支援の理解とこれからを見据えて～

報告者：村田 淳 氏(京都大学 学生総合支援センター障害学生支援ルーム チーフコーディネーター・助教)

学生の相談や支援は個別的で多様です。近年の障害のある学生の増加は、そのことを再認識するとともに、大学として新たな課題へのチャレンジが求められるきっかけにもなっています。

本分科会では、大学における障害学生支援の基本的な理解や対応方法をおさえつつ、特別なニーズをもつ学生を支援する際の視点から、様々なスタッフが「連携する」ということの意義や必要性、条件などを考える機会にしたいと思います。

分科会E：自治体との協働

地域の宝を探し出せ！

報告者：岸川 政之 氏(百五銀行 営業渉外部 顧問 / 皇學館大学 現代日本社会学部 特命教授)

2015年3月末で多気町役場を退職し、現在は百五銀行顧問や皇學館大学特命教授として新たなステージにチャレンジしています。今回は、これまで取り組んできた「高校生レストラン」、「商品開発」や2013年4月に三重県立南伊勢高校で立ち上げた「南伊勢SBP(若者が中心となり地域活性化に取り組むSBP(ソーシャルビジネス・プロジェクト))」の取り組みなどを中心に「自治体との協働」についてお話をします。また、私が実際に行う政策決定の現場を再現する「スペシャルワークショップ」も行います。お楽しみに。

分科会F：教員・研究者との協働

アクティブラーニング型教育方法導入に伴う職員の役割拡大化の中で

～職員による学生同士の関係性構築に重点をおいた提案・支援活動

授業・催事支援、学生ファシリテータ育成を担う職員と、教員の協働について実践報告～

報告者：大谷 麻予 氏(京都産業大学 共通教育推進機構 コーオプ教育研究開発センター F工房 担当コーディネーター)

F工房はファシリテーションの視点から参加型授業(キャリア、学部初年次科目等)や新入生催事等の企画・運営支援を行っています。多様な参加者がフラットに話し学び合う場を、教員や学生ファシリテータと共に楽しく話し合いながら設計しています。F工房の体制、教職員の連携等について様々な事例を交えて紹介した後、皆様と一緒に授業、催事における教員と職員の協働等について考える時間を持ちたいと思います。

第3部：情報交換会

16:15～17:15

キャンパスプラザ京都内ホールにて、立食形式の情報交換会を開催いたします。

※基調講演及び各分科会のテーマや概要等は、都合により若干の変更が生じる場合がございます。変更が生じた場合は、SDフォーラムのWebページ上でお知らせ致します。

申込方法

STEP1: お申込み

【申込期間:2015年8月25日(火)～9月11日(金)】

加盟大学・短期大学 先行申込期間:2015年8月11日(火)～8月24日(月)

申し込み手続き完了後は、参加分科会の変更はできませんのでご注意ください。

- ①<http://www.consortium.or.jp/project/sd/forum> から「メールアドレス確認フォーム」にアクセスし、メールアドレスを入力・送信してください。
 - ②送信いただいたメールアドレス宛に「参加申込フォーム」のURLをお送りします。
 - ③記載のURLにアクセスし、画面の指示に従って申し込み手続きを行ってください。
- ※「参加申込フォーム」URL通知メールが届かない場合は、メールアドレス誤入力の可能性がございます。その場合は、お手数ですが、「メールアドレス確認フォーム」にメールアドレスを再入力・再送信してください。

STEP2: 参加費のお支払

【参加費支払期限:2015年9月25日(金)】

【参加費】 加盟大学・短期大学の教職員…3,000円 / 非加盟大学・短期大学の教職員…6,000円

申し込み手続きが完了した方へ、払込票をお送りいたします。最寄りのコンビニエンスストアで参加費をお支払いください。払込票の取り扱い可能なコンビニエンスストアは送付している払込票の裏面に記載しております。銀行などの金融機関ではお支払いできませんのでご注意ください。

※お申込み手続き及び、参加費のお支払が完了していない方はご参加いただけませんのでご注意ください。

※お支払いいただく参加費については、印刷費、Webシステム運営費、通信費等、諸準備に使用いたします。いかなる理由があっても返金等には応じられませんので、予めご了承ください。

※参加費をお支払いいただきご欠席された方で報告集希望の方へは、SDフォーラム報告集を送付いたします。(2016年3月下旬発送予定)

STEP3: 参加証の受領

参加費の払込みが完了した方には、「参加証」をメールで送信します。

10月7日(水)までに参加証(メール)が届かない場合は、SDフォーラム事務局までお問い合わせください。

STEP4: 当日 参加証持参

当日は、送信された参加証(メール)を各参加者がプリントアウトして持参し、受付にてご提示ください。

※代理の方が参加される場合は、当日の受付にてお申し出ください。

【報告集について】

2016年3月末に発行予定です。

参加費をお支払いいただき、お申込みの際に報告集を希望された方へ、ご登録の住所宛に送付いたします。

会場へのアクセス

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。

お問合せ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

教育開発事業部 SDフォーラム事務局

TEL:(075)353-9163 FAX:(075)353-9101

E-mail:sd@consortium.or.jp

(日、月を除く9:00～17:00)

